

電波時計 (報時付掛時計)

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に修正
毎正時、30分に時刻をメロディなどでお知らせ

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<http://www.rhythm.co.jp>

目 次

1. 安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）	P.3
ご使用する上で守っていただきたいことを説明しています。	
2. 電波時計について	P.4
電波時計の特徴などについて説明しています。	
3. ご使用場所について	P.5
ご使用いただける環境などについて説明しています。	
4. お手入れについて	P.5
お手入れするときの注意事項などを説明しています。	
5. 時計の使い方	P.6
電波を受信させ時刻を合わせる手順を説明しています。	
6. 電波サーチ機能	P.8
電波状態の調べ方や受信表示ランプの見方を説明しています	
7. 時刻のバックアップ機能	P.8
内蔵電池によるバックアップ機能について説明しています。	
8. 電波を受信できない場合	P.9
電波を受信できないときの対処方法を説明しています。	
9. 報時機能の使い方	P.10
10. 時計の掛け方	P.11
安全に時計を掛けていただくための手順を説明しています。	
11. 電池交換時期のお知らせ機能	P.12
電池の交換をお知らせする機能について説明しています。	
12. 明暗センサー	P.12
暗くなると秒針を止める機能について説明しています。	
13. 電波受信機能のON/OFF操作	P.13
おもな製品仕様	P.15
アフターサービスについて	P.16

1. 安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

●電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池一般について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。



注意

●+（プラス）、-（マイナス）を逆に入れないでください。

●指定された新しい電池を使用してください。

●新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。

●使い切った電池は速やかに取り出してください。

●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。

●電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

2. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

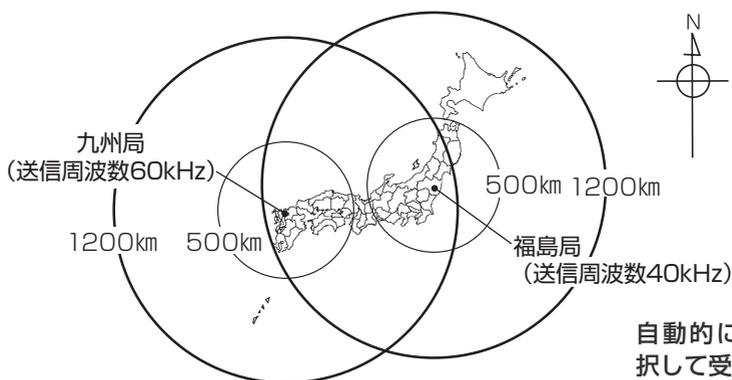
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

受信可能な範囲

送信所から約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



○標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。

海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので電波受信機能を停止させてお使いください。☞「13. 電波受信機能のON / OFF操作」参照。

3. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



- ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき

下記のような場所では使わないでください。



機械やケース、電池の品質が低下したり、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

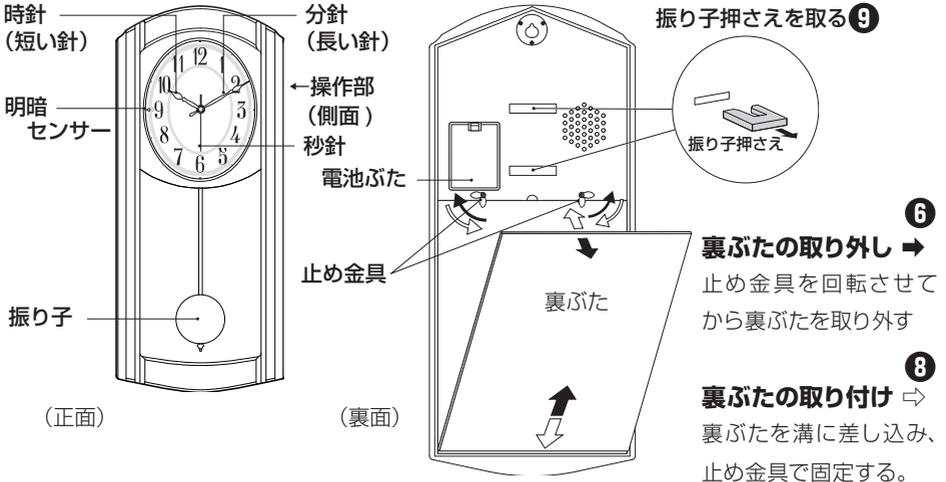
4. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

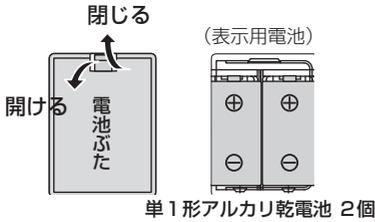
- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

5. 時計の使い方

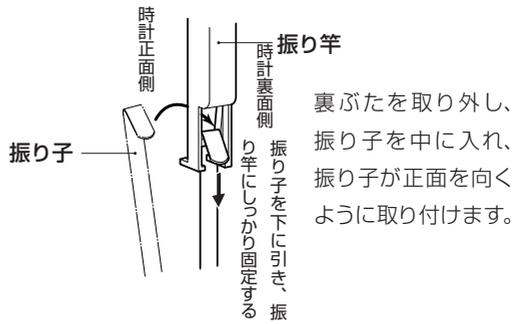
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



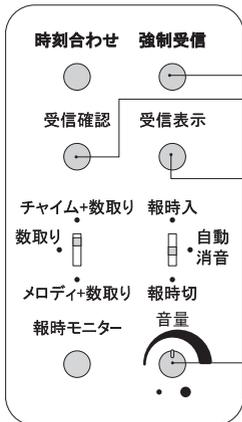
【電池の入れ方】 ②③④



【振り子の取り付け】 ⑦



〈側面操作部〉



強制受信ボタン ⑤

電池を入れた直後、設置場所を変えたとき、静電気などにより正常に動かないときに押します。

受信確認ボタン ⑪

受信結果を確認するときに押します。

受信表示ランプ ⑪

受信の状態や受信結果を表示します。

音量つまみ ①

報時音やメロディの音量を調節します。

↻ : 小さくなる

↻ : 大きくなる

この時計は電波サーチ機能により、時計を設置したい場所の電波状態を調べたり、電波状態のよりよい場所を探することができます。また、工場出荷時より時を刻みつづけていますので、表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に時刻を表示します。

☞ 「6. 電波サーチ機能」参照。

☞ 「7. 時刻のバックアップ機能」参照。

① 音量を小さくする

急に音が鳴ることがありますので、音量つまみを左に回して音量を小さくしてください。

② 電池ふたを取り外す

③ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形アルカリ乾電池を入れます。

逆向きに入れると電池の発熱、破裂、液もれの原因となります。

④ 電池ふたを取り付ける

⑤ 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯し、針が動き出します。強制受信ボタンを押した後は、受信が終わるまで他のボタンを操作しないでください。

☞ 「6. 電波サーチ機能」参照。

○電池を入れた後は誤作動を防止するため必ず強制受信ボタンを押してください。

⑥ 裏ふたを取り外す

⑦ 振り子を取り付ける

⑧ 裏ふたを取り付ける

⑨ 振り子押さえを取り外す

2つの振り子押さえを取り外してください。振り子押さえは輸送時の衝撃から保護するものですので、輸送するときは取り付けてください。

⑩ 時計を掛けて受信が終了するまで待つ

「10. 時計の掛け方」をお読みの上、確実に時計を掛けてください。

受信には最長で15分程度必要です。

⑪ 受信結果を確認する

受信確認ボタンを押して受信表示ランプを確認してください。

受信成功：5秒間点灯→そのままご使用ください。

受信失敗：5秒間点滅→「8. 電波を受信できない場合」参照。

●受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

●受信に成功しているのに、時刻が正しくない場合は、ノイズの影響と思われるので、場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。

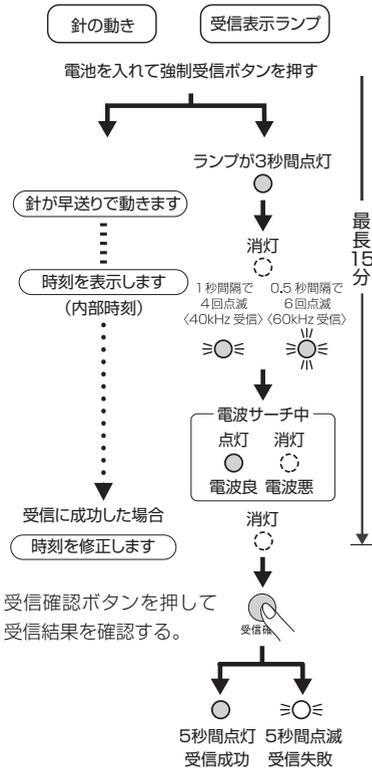
報時の設定

毎正時および30分にメロディなどで時刻をお知らせすることができます。「9. 報時機能の使い方」に従い設定してください。

6. 電波サーチ機能

受信表示ランプの状態により、電波を受信できる場所かどうかを知ることができます。この機能は、電波受信機能が「ON」のときに使えます。

■操作手順



① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動する

② 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。15～45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。およそ1分以上待っても点灯しない場合は、時計の向きや場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。

③ 受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動する

④ 受信表示ランプの表示で、電波の状態を確認する(電波サーチ中)

a 消灯→電波を受信できません。

時計の向きや掛ける高さなどを変えてみてください。それでも点灯しない場合は、設置する場所を変えて、②からやり直してください。

b 不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱い。受信に失敗する可能性があります。

c 点灯→良好な電波状態。

※電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

※強制受信ボタンを押した後、電波をサーチして、受信が完了するまでには、最長15分かかります。

7. 時刻のバックアップ機能

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつけており、表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、針がおよそ3分以内に時刻を表示します。

○表示用電池が無くても、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合は時刻を修正しています。

○表示用電池が消耗したときは、内蔵電池に切り替わり、時を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは針による時刻表示をしません。

※電波受信機能がOFFに設定されているときは受信を行いません。

※表示用電池により時刻表示がされているときは内蔵電池を使いません。

8. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

① 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、「**手動での時刻の合わせ方**」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

② 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

電波サーチ機能を使い受信しやすいところに設置してください。

③ 時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能をOFFにしてお使いになることをお勧めいたします。☞「13. 電波受信機能の ON/OFF 操作」参照。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

つぎのようなときには、針が通常の動きになってから操作してください。

○針が早送りで動いている。

○時刻合わせボタンを押しているのに時針・分針が動かない。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞「13. 電波受信機能の ON/OFF 操作」参照。

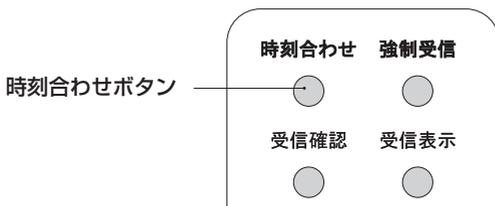
時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。

秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、「0秒」に設定されています。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後滑らかなステップで1秒単位に動きます。



9. 報時機能の使い方

■ 報時スイッチの設定

報時の入 (ON)/ 切 (OFF)、夜間など暗くなると自動的に停止させる自動消音のいずれかを選択します。

入 : 常に報時する。

自動消音 : 暗くなると自動的に報時を停止する。

切 : 報時を停止する。

■ 報時音スイッチの設定

報時のしかたを選ぶことができます。

チャイム+数取り

毎正時 : ウェストミンスターを奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。

30分 : 鐘が1回鳴ります。

メロディ+数取り

毎正時 : 1曲メロディを奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。

30分 : 鐘が1回鳴ります。

数取り

毎正時 : 時刻に対応した数の鐘が鳴ります。

30分 : 鐘が1回鳴ります。

◎報時する音は電子音によるものです。

■ 音量調節のしかた

音量つまみを回して調節することができます。報時モニターボタンを押し、報時している間に音量つまみを回して調節します。

■ 報時音の試聴のしかた

報時モニターボタンを押すと報時音スイッチに対応した報時音を奏でます。報時は時計が指している時刻に対応します。

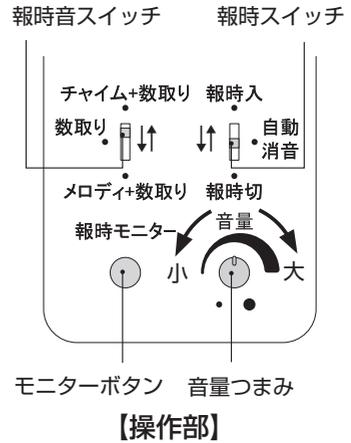
例 . 3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。

報時音スイッチが「メロディ+数取り」のときは、鳴っているときに報時モニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。

■ メロディについて

○メロディの曲目は時計裏面に表示してあります。

○曲順は変更することはできません。また、時刻と曲目は固定されていません。



10. 時計の掛け方



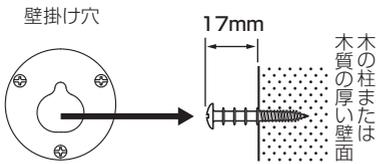
強制



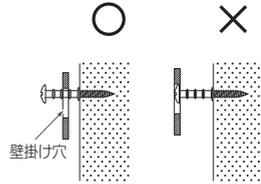
注意

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛ける面に適した壁掛け金具、ねじを選択してください。また、時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合



(形状は商品により異なることがあります)



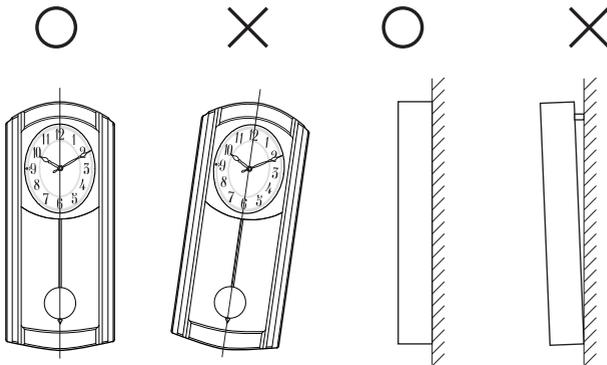
引っかけている 引っかけていない

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは左図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

上記以外の場所（石こうボード、コンクリートなどの壁面）に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

垂直に時計を掛けないと振り子が止まることがあります。



11. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の残量が少なくなると秒針が明るいところでも12時位置で停止します。停止してから1ヵ月程度は、時分針は時刻を表示しますが、**お早めに電池を交換してください。**

※お知らせ状態になってから、時計が停止するまでの期間は、ご使用状態により変動します。

※電池を交換したときは、必ず強制受信ボタンを押してください。

電池からの液もれに注意



時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると電池から液もれが発生して、時計、壁面および家具などに損傷を与えます。時計が止まったら電池を新しいものに交換するか、電池を取り出してください。

12. 明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止します。また、報時スイッチが自動消音のときは報時を停止します。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。

13. 電波受信機能の ON/OFF 操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■ 電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

強制受信ボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制受信ボタンを3回押しします。（点灯したらすぐに押ししてください）

ボタンを押しタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

名 称	操作または状態
強制受信ボタン	押す → 押す → 押す → 押す
受信表示ランプ	点灯 点灯 点灯 点灯しない

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■ 電波受信機能をONにするには（開始するには）

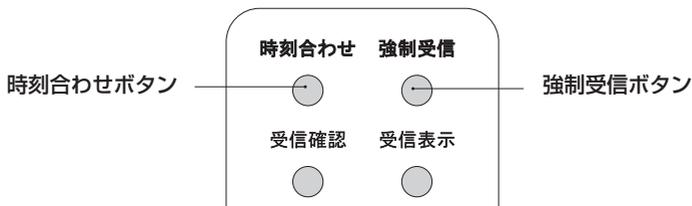
先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

名 称	操作または状態
時刻合わせボタン	押しつづける → 離す
強制受信ボタン	↳ 押す ↳ 押す
受信表示ランプ	点滅 点灯（受信開始）

※表示用電池を取り出しても、設定された電波受信機能の状態は変わりません。

※出荷時の設定は、電波受信機能「ON」です。

※この説明の中で、「押す」は「押してすぐ離す」ことです。



おもな製品仕様

時 間 精 度	標準電波の受信に成功している場合（受信直後） 表示精度 秒針 ±1秒以内 時針・分針 目盛に対して±3度以内 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒以内（常温中のクオーツ精度）
報 時 精 度	表示時刻に対して±1秒
使 用 温 度 範 囲	-10～+50℃
使 用 電 池	表示用：単1形アルカリ乾電池（JIS規格 LR20）2個 バックアップ用：CR2032 1個（内蔵）
電 池 寿 命	表示用：約1年（音量 中位 1日17回報時） 内蔵電池は出荷時より5年以上
自 動 受 信 回 数	<ul style="list-style-type: none"> •受信に成功している場合 1日最少1回最多3回 •受信に失敗している場合 1日12回受信（最多）
そ の 他	標準電波機能 時刻自動修正、電波受信ON/OFF機能、電波サーチ、受信表示ランプによる受信結果の表示、時刻のバックアップ 明暗センサー 暗所での秒針、報時、受信表示ランプの停止 報時機能 報時スイッチ（ON/自動消音/OFF）、報時音スイッチによる報時形式選択、音量調節、報時音のモニター機能 電池交換時期お知らせ機能

※付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池寿命は、電波の受信に成功し、明暗センサーにより1日7時間秒針が停止しているときのものです。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単1形アルカリ乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

商品に関するお問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号をお伝えください。（例 4MN ○○○）

フリーダイヤル
お客様相談室  0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）